



WEEKLY 名古屋 ちくさ 題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 加藤 重雄
幹事 小林 英毅
広報・会報委員長 鈴木 聖三

No. 15 ローターに輝きを (LIGHT UP ROTARY)

2014~2015年度 RI会長 ゲイリー C.K. ホアン

今日の例会

第1523回 平成26年 11月3日 (月・祝)

ジャパン・ロータリーデー
ワールドフード+ふれ愛フェスタ
久屋大通公園 / 神楽家

先週の例会

第1522回 平成26年 10月28日 (火) 晴

職場例会
松楓閣 / 揚輝荘

◆奉仕の理想

◆出席報告

会員 41 (37) 名 出席 30名
出席率 81.08%
前々回 10/7 (修正出席率) 94.59%

小林幹事報告

- 1) 本日例会終了後 理事役員会を開催致します。
理事役員の皆様は3階 梅の間へお集まり下さい。
- 2) 次週は職場例会です。 12:30 より松楓閣で例会を行います。お間違いなきようお願い致します

足立職業奉仕委員長挨拶

本日はよろしくお願ひ致します
食事の後、皆様には 揚輝荘の北園へ移動して頂きます。
13:15より北園では、佐藤館長より揚輝荘についてのお話、ほか職業奉仕月間 職場例会ということで、揚輝荘でガイドをされている方々の話なども伺えることになっております。
その後、北庭園内を杉本副館長にご案内して頂き、南園では、聴松閣を江副副館長にご案内して頂きます。
終了は14:20頃になるかと思ひます。
どちらも時間の都合上、短時間でのご案内になります。詳しくご説明頂きたい方は引き続きガイド頂けるそうですので見学下さい。

加藤会長挨拶

私は、今居るここ松楓閣や、職場例会でこれから訪れます揚輝荘の1958~1959年(昭和33~34年)頃を少し知っています。
それは、私の母の姉が覚王山で横井商店という米穀屋をやっていました。私は当時たしか中学1~2年生だったと思います。



母から頼まれ、学校の冬休みに入った12月27日から31日の午後3時まで2年間、玄米から白米にする精米の手伝いと、お正月の餅づくりの手伝いをしていました。精米した米やお正月用の餅の配達を補助する手伝いではなくて叱られ、お飾り餅は、せんべいみたいにペシャンコにして叱られ、配達に行くとき配達先でしゃべってばかりいると叱られてばかりいました。中学1~2年生です。使う方が悪い、と思いました。

当時、米屋は正月前になると猫の手も借りたいくらい忙しくなります。中でも今日のこの「松楓閣」と南側の「井膳」はよく配達に来ました。「井膳」はすでになくなってしまいました。「松楓閣」は当時、「中村会館」と言っていたと思います。玄関入口右側にある大きな庭石は京都の鞍馬石「本鞍馬石」だと、当時百姓から庭石をやっていた父に聞いた覚えがあります。

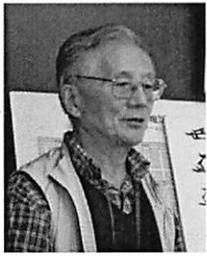
そしてその「中村会館」の奥に日泰寺があり、その東側に松坂屋の伊藤次郎左衛門の別邸があり、ここへも配達に来た覚えがあります。

そして、ここには台湾の蒋介石が来たようなことを聞いたのを覚えております。

これから揚輝荘で佐藤館長より詳しいお話を伺いましょう。



◆揚輝荘



佐藤館長に「揚輝荘」についてのお話をうかがいました

揚輝荘は大正から昭和初期にかけて（株）松坂屋の初代社長伊藤次郎左衛門祐民によって構築された別邸です。完成時（昭和14年頃）には約1万坪の敷地の中に三十数棟の各種建造物が建ち、池泉回遊式庭園とともに覚王山の高台に威容を誇っていました。かつては、各界の要人や文化人が往来する迎賓館、社交場として華やぎ、アジアの留学生が寄宿して国際的なコミュニティを形成した場所でもありました。その後、世の移ろいを経て残された歴史的建造と庭園は今や市民共有の財産となっています。

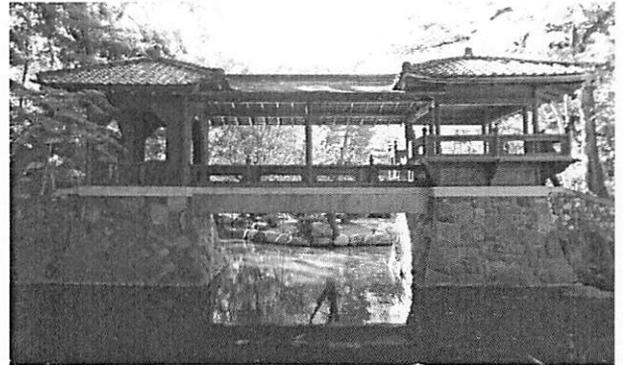
【揚輝荘小史】

- 1918年 「三賞亭」茶屋町本家から移築
(大正7年) 「揚輝荘」と名づける
- 1919年 「揚輝荘座敷」矢場町五ノ切から移築改修
この頃から茶会、園遊会、運動会を
たびたび開催
- 1922年 「有芳軒」徳川邸から移築
- 1923年 この頃から皇族、華族、文化人などの
来荘、宿泊頻繁
- 1929年 「伴華楼」徳川家から移築、洋室新築
(昭和4年)
- 1930年 「暮雪庵」本家から移築
- 1934年 祐民インドなど仏跡巡拝の旅
- 1936年 初の「外国人留学生」タイから迎え入れ
- 1937年 「栗廼家」移築・「聴松閣」「サンタール」新築
- 1940年 (祐民茶屋町本邸で永眠)「治助」追悼茶会
- 1945年 空襲で建物の多くを滅失
「聴松閣」米軍司令官用宿舎として接收
- 1952年 米軍接收返還
- 1954年 松坂屋の社員寮(一部) (~1990年)
- 2007年 名古屋市に寄附、暫定公開開始
(平成19年)
- 2008年 「聴松閣」「揚輝荘座敷」「伴華楼」「三賞亭」
「白雲橋」名古屋市指定有形文化財に指定
- 2013年 「聴松閣」開館



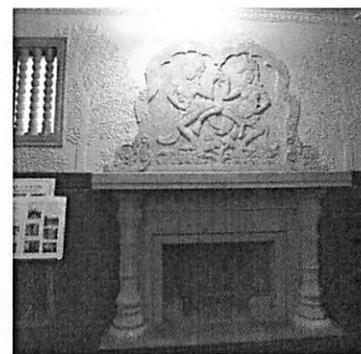
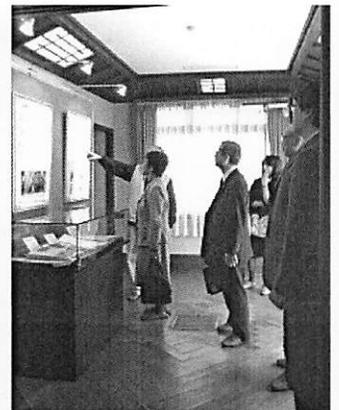
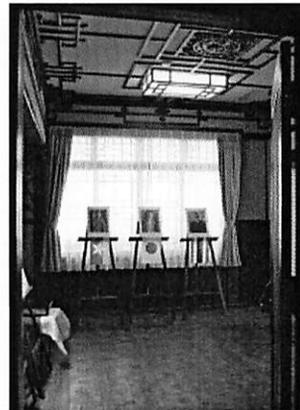
揚輝荘 南園「聴松閣」の前で

北園 / 白雲橋



修学院離宮の千歳橋を模したといわれる廊橋で北庭園のシンボルです。龍の天井絵、手彫の白木擬宝珠などに趣向がこらしてあります

南園 / 聴松閣



ハーフチンバーの外壁など山荘風の外観をした迎賓館で、昭和12年に建築されました。地上3階の各室は各国様式がミックスされており、地階は全体がインド様式です。

※ニコボックスは次週掲載させていただきます

次回例会：平成26年11月11日(火) 4F 雅の間
講演：職業研修チーム委員会 副委員長 吉川 公章君 “「改革」～新しいロータリー財団～”